

学習発表会裏話 その1

校内を一回りして校長室へ向かおうと階段を上っていくと、大きな声が聞こえてきました。「突然ですが、ここでクイズです。港の近くには工場がたくさんあります。それはなぜでしょう。1、海がきれいで働く人が気持ちよく仕事をするができるから。2、材料や作った物を運ぶのに便利だから。3、工場の偉い人が港が好きだったから。考えタイムは5秒です。5、4、3、2、1。正解は2です」と。

聞いたことがあるこの文章。2階に上がると3年生のAさんが廊下の突き当たりの戸を開けて、外に向かって大声を出している姿が見えました。そっと近づいて真後ろに行きましたが、それに気付かないのか、大きな声を出し続けていました。しばらくして話しかけると、課題が終わってからの時間、学習発表会の練習をしているとのことでした。

予行では発表にまだ不安があったのか、3年生は発表原稿を持つての登場でした。本番に向けてその不安を払拭するための練習だったのでした。親切に答えまで大声で言っていたので、「ここで答えを言うと、みんなにばれちゃうよ」と笑って伝えて、その場を離れました。

この練習の成果でしょう。本番では発表原稿を持つてている子は一人もおらず、それどころか、堂々とした態度で、大きな声で発表していました。

ちなみに、3年生はグラウンドに離れて立って、大きな声を出す練習もしていました。本番の立派な発表の裏には、こういう練習の積み重ねがあったのでした。



学習発表会裏話 その2

学習発表会予行の翌日の昼休み。職員室からその様子を眺め、ふと上を見ると、真っ青な空にふわふわとした白い雲が浮かんでいました。その姿が、1年生が発表してくれた「くじらぐも」に見えました。急いでカメラを取り出し写真を撮ると、他の先生方も見に来て、「くじらぐもみたい！」と言いながら一緒に感激しました。

その後、教頭先生が「今、空には、1年生が発表したくじらぐもが・・・」と校内放送でみんなに知らせました。

空を見上げて、「先生と子供たちが手をつないだままくものくじらにのっていました」

「くじらは、青い空の中を、元気いっぱい進んで行きました。みんなは、歌を歌いました。空はどこまでもどこまでも続きます」の情景を思い描いた子がいてくれたなら素敵です。

放送の後、外では1年生たちが、高沢先生の号令で「天まで とどけ、1、2、3」とジャンプをしていたそうです。これも素敵です。

1年生の発表が予行より一層よくなったと感じたのは、もしかすると、この雲をイメージしながら演じていたからかもしれません。



晴れた日、空にきらきら光るものがありました。トンボです。たくさんのトンボの羽に日光が反射して見えたのでした。真っ青な空に白い雲があり、きらきら光るトンボが飛んでいる光景。「綺麗だな」と思いながら見上げていました。